

千代田区議会議員

2008年8月

河合良郎

Report



秋暑厳しき候、皆様お元気ですか。日中の耐え難い暑さも、今しばらくかと思っております。もう空は秋の色、実り多い季節となることを祈ります。季節の変わり目、くれぐれもご自愛下さいませように。

さて、区議会も9月18日より、第3回定例会が始まります。この定例会では、予算決算特別委員会が設置され、歳入歳出決算の審査を行います。「合理的に予算が執行されているか」「最小の経費で最大の効果を上げるようにしているか」「組織及び運営の合理化に努めているか」など様々な角度から厳しくチェックいたします。国家予算の歳入歳出に關しても徹底的な見直しと、国民が納得できる経済対策を早急に実施する事が急務です。大胆な改革

こそが、自民党の信頼回復につながるるとともに、責任政党の使命でもあると考えます。与謝野馨経済財政担当大臣の手腕に期待するものです。

今後も区民の「しあわせ」のために活動をしてまいります。変わらぬご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



先の国会では、ガソリン税など道路特定財源の一般財源化や後期高齢者医療制度が与野党の争点になりました。年金問題、健康保険問題も含め、その財源を考えると、消費税論議は避けて通れない状況です。

国の予算には、一般会計と特別会計(31の特会)があります。かつて、塩川元財務相が「母屋(一般会計)でおかゆを食べているのに、離れ(特別会計)で子どもがすき焼きを食べている」という名言を吐きましたが、この際、特別会計の抜本的な見直しを含めて、無駄遣いを無くし、国民の「受益と負担」の関係を分かりやすくする事が大切です。改革後、与党税制改正大綱に具体的な消費税の記述を盛り込むことが望ましいと考えます。まずは、説明責任を果たすことです。

お問い合わせ 河合良郎事務所

〒102-0072 千代田区飯田橋1-5-8

TEL 3261-0672

E-mail info@kawai-yoshiro.com

FAX 3261-1151

U R L www.kawai-yoshiro.com

河合良郎 ホットライン 090-1885-1587 (携帯電話)

すべては「区民のしあわせ」のために お気軽にご連絡下さい。



平成 21 年度予算編成方針(千代田区の考え方)

● 予算編成にあたっての基本方針 ●

- ① 共生社会の実現に向け取り組む
- ② 区民の目線で地域の課題把握と解決に取り組む
- ③ 「真の地方分権」に取り組む

● 重点事項 ●



地球温暖化対策に関する取り組み

(ローカーボン化の推進、CO₂削減、ヒートアイランド対策、低炭素型のまちづくり、ごみの発生抑制とリサイクルの推進)

まちづくりに関する取り組み

(地域主体のまちづくりの方向性やルールの検討、中堅ファミリー世帯に対応した住宅供給(東松下町計画)、建て替え支援、建築物の共同化推進、歩行空間のバリアフリー化、自転車利用環境の整備、緊急輸送道路沿道、マンションの耐震診断耐震改修の促進)

地域コミュニティ・商工・消費者に関する取り組み

(地域コミュニティ団体間での交流促進、ちよだアートスクエアの整備、商店街の自主的取り組み支援、資金調達環境の整備、観光ビジョンの具体化、消費者被害の未然防止策)

子ども・教育に関する取り組み

(次世代育成支援行動計画平成 22~26 年度の策定、保育対策、発達障害者に対する就労支援、心の教育の推進、基礎学力の定着、富士見こども施設整備、麹町保育園・麹町中学校整備)

安全・安心の確保に関する取り組み

(災害時に被害が多い高齢者・障害者・乳幼児に対する救援・救護体制の整備、帰宅困難者対策、危機管理体制の充実、生活環境条例に基づく取り組み、新型インフルエンザ対策)

高齢者・障害者に関する取り組み

(介護と医療の連携強化、高齢者の生きがいづくりのための拠点整備、介護予防の取り組み強化、資産を活かした生活形態の仕組みづくり、障害者福祉センターの整備、障害者の就労支援)

健康づくりに関する取り組み

(受診しやすい健診体系の構築、新保健所の整備、むし歯や歯周病予防対策、食育の推進、医療体制の充実・支援)

お気軽にご意見をお寄せ下さい。

観光施策特別委員会副委員長としての興味

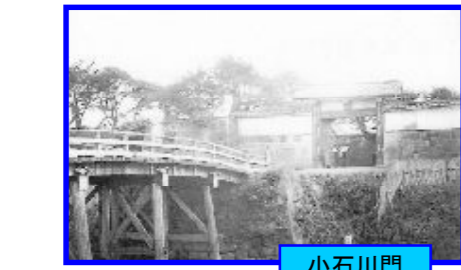
「史跡・江戸城外堀跡保存管理計画と市街地再開発事業」

国指定の史跡である牛込門(飯田橋)～赤坂門(赤坂見附)までの4kmの区間は、現在でも当時の面影が残る、都心では貴重な水辺と緑の空間です。

この史跡を適切に保存・管理し、教育・観光・レクリエーションなどの資源として使っていこうという考え方から、千代田区・新宿区・港区が共同で保存する管理計画を作成しました。

計画では、江戸城外堀完成400年(2036年)に向けて、「外堀の素晴らしさを体感すること」ができる目標像を示しました。

「近世最大城郭を受け継ぐ東京再発見」と題して、江戸城外堀を巨大城郭の一角として顕在化させるというものです。高速道路の撤去、堀の埋め返しなど、まちづくりを含めた広い視点が要求されます。皆様のご理解をお願いいたします。世界遺産登録も夢ではないかもしれませんね。



小石川門



富士見二丁目北部地区



牛込門

富士見二丁目10番地区

富士見一丁目計画

外堀の「つながり」を伝える
 ・近世城郭の城門を体感できる牛込門
 ・壮大な天下普請を伝える連続した水堀と土手

堀内の「深さ」を伝える
 天下普請の規模を体感できる堀底の広場



四谷門

外堀の「重層する歴史」を伝える
 ・江戸城の原初を伝える喰違
 ・天下普請の原形を伝える堀と土手
 ・近代の歴史を体感できる界隈



霞が関三丁目南地区

喰違

赤坂門



飯田橋地区

西神田三丁目北部東地区

富士見の学校と緑のある住宅地

印刷・出版街

学生街

老舗の集積地

神保町一丁目南部地区

神田淡路町二丁目地区再開発事業

神田東松下町計画

大手町一丁目地区

西神田三丁目北部西地区

古書店街

スポーツ用品店街

東京ゲートエリア

番町の落ち着いた住宅地

麹町四丁目地区

平河町二丁目東部南地区

大手町オフィス街

丸の内オフィス街

官庁街

有楽町駅前第1地区



秋葉原地区



皇居周辺の大手町・丸の内・有楽町地域をはじめとして、都心千代田区では再開発が盛んに行われています。日本経済の中枢を担う要の地域であることから、つねに開発を優先しがちです。地域事情として理解しなければならない部分もあります。

しかし、皇居及び周辺地域は、歴史と文化に培われた、緑豊かな自然と潤いのある景観を残している千代田のシンボルです。現在、景観や街並みという国民の歴史財産にふさわしい皇居周辺の環境を保全するには、大変厳しい状況にあるのが現状です。区民と行政が一体となって、国民共有の財産を未来に受け継げるように真剣に考える必要があります。

江戸城の外郭である外堀は、都心千代田の入口です。昔はここに、外郭門である赤坂門・喰違・四谷門・市谷門・牛込門・小石川門・筋違門など、内外堀に31の門がありました。江戸時代の見附門の再建など、千代田の独自性に寄与するのではないのでしょうか。いつか江戸城再建まで話が進んだら素晴らしいですね。